

プラント装置の設計・製作・メンテナンス一貫体制による高付加価値化

スピード性・コスト削減・ 工程管理体制の強化を実現 お客さまに独自性の高いサービス提供を



「人のやらないことをやる。
そこに会社の存在価値がある」

【行動指針】

「人、挑戦、未来」

【経営理念】

「コダマの存立と発展は、お客様満足と社員満足を高めることにある」

株式会社コダマは1919年、児玉鋳造所として創業した。以来、ものづくり一筋に、66年にプラント部門を、87年に溶射部門を開設。現在はプラントエンジニアリング、鋳造、溶射を三つの柱に、業務内容を絞らずに幅広い仕事に挑戦し、軸足を太く保っている。

プラントエンジニアリングでは、製鋼プラント施設やリサイクル施設、上下水道施設など様々な分野で、スペースや環境に合わせた計画の立案から、設備の製造、施工、メンテナンスまでを一貫して請け負っている。創業からの経験を生かした鋳造では、主に特殊鋼製品の製造に使う製鋼用の鋳型を作っており、ベストセラーも多い。溶射では、表面処理によって部品の寿命を延ばしたり、耐熱性や耐腐食性を高めたりと、多様な付加価値を提供している。

幅広い分野の取引先を持つが、目の前の仕事だけではなく、ベストパートナーといえる関係を築くことに力を入れている。そのために生産性を重視しており、従業員一人あたりの生産性は全国平均を上回っている。

「人のやらないことをやる。そこに会社の存在価値がある」として新しいことに挑戦を続け、技術の向上に努めている。

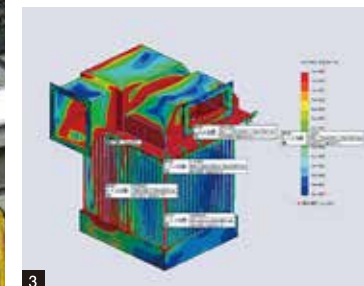


製作スピードが約2倍、量産化が可能に一貫生産体制を強化

今回のものづくり補助事業では、プラントエンジニアリングの生産性を高め、一貫した生産体制を強化するために、プレスブレーキとCNC旋盤、プレスブレーキ用金型を導入した。

一貫性は同社の強みの一つで、そのスタートである提案力や設計力こそが、「他社のプラント大手との差」と認識している。仕事を勝ち取るには、プロジェクトの最初から最後まで、すべてを把握し、スピード感を持って完成させる体制が

代表取締役社長
児玉 泰州



- 1,2 一貫体制により世界で唯一のリサイクルプラントなど多数のプラントを手掛けている。
3 三次元CADでの図面設計で、設計根拠の明確化と製作予定設備の設計段階での見える化が可能に

不可欠との思いがある。

しかし、これまでは設備の関係で、頻繁に作る部品でも製作に時間がかかったり、一部を外注したりせざるを得なかった。

導入したCNC旋盤は、プログラミングでデータ管理ができるため、製作スピードが約2倍になり、量産化が可能になった。プレスブレーキは、導入で工数が減り、作業に必要なコストも減らすことができた。今後は県外の鉄鋼メーカーなどとの取引を増やす予定だ。



時代の先を見据えて次の戦略を

同社は19年で創立百年を迎える。ロゴも一新し、頭文字の「K」をモチーフに、赤で溶ける鉄の色を表現した。企業イメージを高め、発信力をさらに伸ばす試みの一つだ。若い世代を積極的に採用し、社内外で多様な研修を行うなど人材育成にも力を入れている。

鉄など金属によるものづくりは、時代とともに大きく変化しているという。ヨーロッパでは、将来的にガソリン車とディーゼル車の販売を禁止する国が増えており、世界的にEV車の普及が加速している。EV車が主流になれば、「この業界にもきわめて大きな影響がある」と同社では見ている。常に時代の先を見据えて次の戦略を立てており、たとえば溶射部門では、電磁波を遮断できる皮膜を開発中。これからの時代に必要とされる、大きな可能性を秘めた技術に、いち早く取り組んでいる。

Company Data

（株）コダマ



赤で溶ける鉄の色を表現した同社の新ロゴ

代表者名：児玉 泰州
設立年月日：大正8年4月
資本金：20,000千円
従業員数：54名
業種：金属製品製造業
売上：1,145百万円
住所：〒690-0026
島根県松江市富士見町1-3
電話：0852-37-1131
FAX：0852-37-1134
URL：<http://k-kodama.co.jp/>